

# 平成22年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

## 1 市税等の収納状況

### (1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化と年々増加する収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取り組んでいます。平成22年度の収納状況は、次表のとおりです。

市税をはじめとする主な公金の収納実績は、調定額 5,349,192千円に対し、収入済額は 4,837,843千円、不納欠損額 36,905千円、収入未済額 474,444千円、収納率は 90.44%で、目標収納率 93.12%を 2.68ポイント下回る結果となりました。

調定額の前年度比較では、現年度分で 161,219千円の減、滞納繰越分で 39,614千円の増、合計で 121,605千円（△2.2%）の減となりました。

収納率の前年度比較では、下水道・農業集落排水事業で 1.67ポイント上回り、学校給食費 1.42ポイント、市税 0.33ポイント、水道料 0.16ポイントそれぞれ上回りました。一方、住宅使用料で 2.41ポイント下回り、国保税 2.01ポイント、奨学資金 1.44ポイントなど、6つの科目でそれぞれ下回りました。

収入未済額の総額は、調定額の減少等により 474,444千円となり、前年度に比較して 29,467千円（△5.8ポイント）の減となりました。市税と国保税の収入未済額が全体の約7割を占めており、特に国保税の収入未済額は、調定額の約2割を占めています。

表 平成22年度収納実績

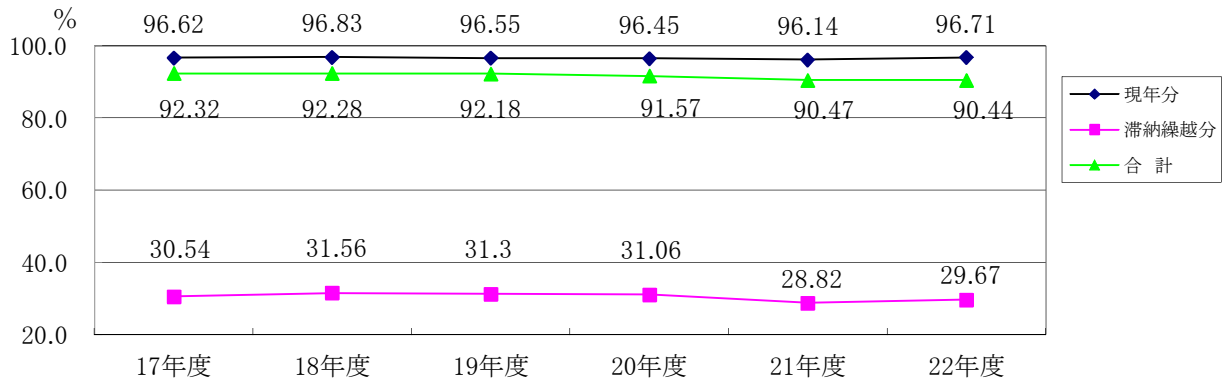
(単位：千円、%、pt)

収入科目	年度	平成22年度						平成21年度		収納率比較	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	目標収納率	目標比較	収入未済額		収納率
市 税		2,451,088	2,267,316	8,487	175,285	92.50	94.70	△2.20	186,314	92.17	0.33
国 保 税		806,025	617,876	5,763	182,386	76.66	85.79	△9.13	179,926	78.67	△2.01
保育料・幼稚園 使用料		140,630	117,415	350	22,865	83.49	85.29	△1.80	22,377	83.62	△0.13
住宅使用料		87,108	74,675		12,433	85.73	94.87	△9.14	10,201	88.14	△2.41
学校給食費		117,127	116,564	296	267	99.52	96.10	3.42	1,189	98.10	1.42
水 道 料 (企業会計3月末)		647,883	593,621	21	54,241	91.62	92.79	△1.17	54,733	91.46	0.16
下水道・農業集 落排水事業		171,198	155,319	6,761	9,118	90.72	96.96	△6.24	19,452	89.05	1.67
介護保険料		398,893	375,798	15,205	7,890	94.21	98.06	△3.85	21,258	94.74	△0.53
ケーブルテレビ 使用料		312,313	311,896	22	395	99.87	99.89	△0.02	384	99.86	0.01
奨学資金		46,644	38,375		8,269	82.27	92.14	△9.87	6,825	83.71	△1.44
後期高齢者医療 保険料		170,283	168,988		1,295	99.24	98.57	0.67	1,252	99.28	△0.04
合計	現年度分	4,848,745	4,689,355	77	159,313	96.71	97.42	△0.71	192,851	96.14	0.57
	滞納繰越分	500,447	148,488	36,828	315,131	29.67	34.45	△4.78	311,060	28.82	0.85
	計	5,349,192	4,837,843	36,905	474,444	90.44	93.12	△2.68	503,911	90.47	△0.03
平成 21 年度	現年度分	5,009,964	4,816,622	491	192,851	96.14	97.41	△1.27			
	滞納繰越分	460,833	132,829	16,944	311,060	28.82	34.14	△5.32			
	計	5,470,797	4,949,451	17,435	503,911	90.47	93.02	△2.55			
前年度 比較	現年度分	△161,219	△127,267	△414	△33,538	0.57	0.01	0.56			
	滞納繰越分	39,614	15,659	19,884	4,071	0.85	0.31	0.54			
	計	△121,605	△111,608	19,470	△29,467	△0.03	0.10	△0.13			

## (2) 収納率の推移

平成22年度現年分の収納率は 96.71%となり、前年度に比較して 0.57ポイントの増となり、平成19年度以降、年々下がり続けていた現年度分の収納率が前年度を上回りました。また、滞納繰越分の収納率も 0.85ポイント増加して 29.67%となりました。しかしながら、合計の収納率は 90.44%となり、前年度より 0.03ポイントの減となりました。これは、国保税や市税等の滞納繰越額が多いことによるものです。

図 収納率の推移



## (3) 不納欠損の状況

市税の不納欠損は、5年時効完成による消滅 411件・5,248千円、執行停止3年による消滅20件・167千円、徴収不可による消滅110件・3,072千円、合計で541件・8,487千円となりました。

国保税は、5年時効完成による消滅747件・4,820千円、執行停止3年による消滅 166件・918千円、徴収不可による消滅 19件・24千円、合計で 932件・5,763千円となりました。

市税及び国保税以外の不納欠損は 325名・22,655千円で、内訳は保育料・幼稚園使用料が4名分・350千円、介護保険料が 224名分・15,205千円、学校給食費が9名分・296千円、下水道事業受益者負担金等が 83名分・6,761千円、ケーブルテレビ使用料が2名分・22千円、水道料が3名分・21千円となりました。

## (4) 滞納者の現状

景気の低迷により、市民所得が年々減少傾向にあります。自営業の商店や農業の低迷、製造業や建設業の業績悪化によるリストラや給与の引き下げ、個人の多重債務、病気等による生活困窮などにより、納付に苦慮している状況が増えてきています。

## 2 平成22年度の収納対策の取組み

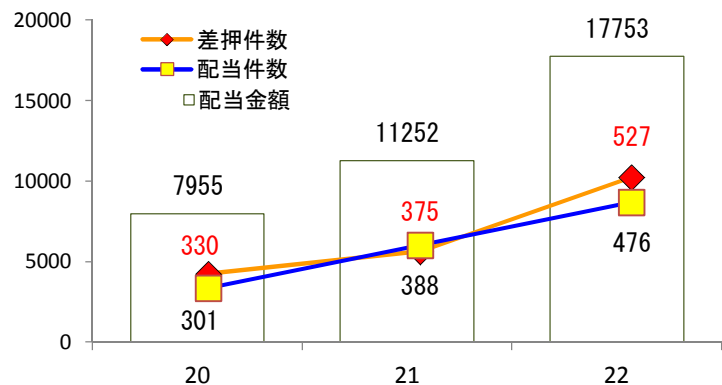
### (1) 催告書の一齐共同送付

関係課による催告書の共同封入・発送を1回増やし、4月・7月・11月の年3回実施しました。

### (2) 滞納処分の状況

最近3年間における差押、配当件数及び配当金額は、次のとおりです。

区分	20年度	21年度	22年度
差押件数	330件	375件	527件
配当件数	301件	388件	476件
配当金額	7,955千円	11,252千円	17,753千円



### (3) その他の収納対策

滞納整理実働班においては、共通する市税等滞納者の実態把握を進めるとともに、滞納者の情報共有を図りながら、不納欠損になる見込みの者に対して早期の納付交渉を行うなど効率的・効果的な滞納整理に努めました。